



Source: CQG, Inc. © 2006 All rights reserved worldwide.

**23日**

NY金先物相場が急落したことがドル買いのきっかけとなった。11月米製造業・サービス部門PMI速報値が予想を上回ったほか、総合PMI速報値が前月から改善し5年7カ月ぶりの高水準を付けたことも円売り・ドル買いを促し、ドル円は一時104.64円まで上値を伸ばした。ロンドン16時(日本時間1時)のフィキシングにかけてドル買いが加速した影響も受けた。

**24日**

欧州序盤は株高に伴うリスク・オンのドル売りが優勢となり、ドル円は一時104.15円まで値を下げた。ただ、米長期金利の上昇を受けた円売り・ドル買いが出たほか、ロンドン・フィキシングに向けた思惑的なドル買いが入り一時104.76円まで切り返した。

**25日**

ドル円は動き自体は鈍かったが、米長期金利の低下などをながめじり安となった。前日に史上最高値を更新して初の3万ドル台乗せとなったダウ平均が反落し、一時230ドル超下落したことも重しとなり104.26円まで下押しした。

**26日**

ドル円は月末を控えて本邦輸出企業の売り警戒感が上値を抑え、一時104.22円まで下げた。ただ、米国が感謝祭で休場とあって動きが全体的に緩慢だった。

**27日**

ドル円は連日で月末に絡んだ本邦輸出企業の売りが観測され、一時103.91円まで値を下げた。ショートカバーから一巡後は104.20円前後まで持ち直す場面があったが、対ユーロなどでドル安が進んだため戻りは鈍かった。

**総括**

先週のドル円は頭の重い動きとなった。NY金先物価格の急落をきっかけとしてドルが急伸したため、週前半こそ堅調に推移したが、その後は週末にかけてじり安の展開に。特に東京市場では月末に絡んだ本邦輸出企業の売りが主導する形だった。週末には104円を割り込み、その後の戻りも鈍かった。

## 先週の注目された経済指標結果

日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	予想値	結果
24日	16:00	火	DEM	GDP改定値	前期比	7-9月期	8.2%	8.2%	8.5%
24日	23:00	火	EUR	ラガルドECB総裁講演	*	*	*	*	*
24日	24:00	火	USD	消費者信頼感指数	*	11月	100.9	98.0	96.1
25日	22:30	水	USD	GDP改定値	前期比年率	7-9月期	33.1%	33.2%	33.1%
25日	24:00	水	USD	PCEコアデフレーター	前年比	10月	1.5%	1.4%	1.4%
25日	24:00	水	USD	新築住宅販売件数	前月比	10月	-3.5%	1.5%	-0.3%
25日	28:00	水	USD	FOMC議事要旨	*	*	*	*	*

一言コメント・・・先週は米国が感謝祭休暇とあって、市場参加者が少なく、経済指標への感応度が低かったようです。米政権移行を巡る懸念の後退や新型コロナワクチン開発進展を受けて、株高とリスク・オンのドル売りが目立つ展開でした。

## 先週の注目された要人発言

24日01:08 ベイリーBOE総裁「ワクチンのニュースが金融市場を押上げている」「ワクチンのニュースは何カ月も続いた長いトンネルの終わりにある最初の光のようだ」「ワクチンのニュースで楽観的な理由になっているが、注意深く見守らなければならない」  
 24日02:55 パーキン米リッチモンド連銀総裁「今後数カ月で財政の慎重さを再検討する可能性が高い」「FRBのバランスシートは、短期債務を長期債務と交換している」  
 24日10:04 ロバートソンNZ財務相「NZ中銀(RBNZ)の責務に住宅価格を追加するよう提案」  
 24日12:50 オアRBNZ総裁「金融政策だけでは住宅価格を調整できない」「MPCメンバーはすでに資産価格についての検討を行っている」  
 25日04:15 マクロン仏大統領「28日からロックダウン(都市封鎖)措置の漸進的な緩和を実施する」  
 25日21:08 ジョンソン英首相「漁業権に対する立場は変わらず、欧州連合(EU)が受け入れなければ交渉進展はない」「移行期間は延長しない」  
 26日04:00 FOMC議事要旨「当局者らは資産購入がどのように進むかますます焦点を当てている」「一部の当局者は最終的な財務省証券購入の加重平均満期を延長することを期待」  
 26日21:41 ECB理事会議事要旨(10月28-29日分)「必要とあればいつでも行動する」  
 27日07:39 トランプ米大統領「選挙人団がバイデン氏に投票するなら権力を放棄する」

一言コメント・・・NZ財務相の発言を受けてNZドル買いが優勢になりました。また、ECB理事会議事要旨で「新型コロナ感染拡大による景気回復の遅れや低インフレ長期化への懸念」が表明され、「必要なら追加緩和を実施する」との見解が示されるとユーロ売りが強まりました。

## 今週の経済指標

日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	改定値	予想値
1日	12:30	火	AUD	RBA政策金利	*	*	0.10%		0.10%
1日	19:00	火	EUR	HICP速報値	前年比	11月	-0.3%		-0.2%
1日	24:00	火	USD	パウエルFRB議長、議会証言	*	*	*	*	*
1日	24:00	火	USD	ISM製造業景況指数	*	11月	59.3		57.8
2日	22:15	水	USD	ADP雇用統計	前月比	11月	36.5万人		43.0万人
3日	24:00	木	USD	ISM非製造業指数	*	11月	56.6		56.0
4日	22:30	金	USD	非農業部門雇用者数	前月比	11月	63.8万人		50.0万人

今週の注目は・・・FRB議長議会証言

# 週刊マーケットアナリシス 会員専用版レポート

会員サイトログイン後のページで  
ご確認下さい

- 今週のドル円相場見通し
- 今週のGI24コメンテーターの一言
  - 荻野金男
  - 和田仁志
- 今週の注目経済指標
- 今週のテクニカルポイント
- 先週のコメント
  - 今井雅人
  - よろずのつぶやき

情報提供元：株式会社DZHフィナンシャルリサーチ

株式会社DZHフィナンシャルリサーチより提供している情報（以下「情報」といいます。）は、情報提供を目的とするものであり、特定通貨の売買や、投資判断ならびに外国為替証拠金取引その他金融商品の投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はあくまでお客様ご自身の判断と責任において行ってください。また、予告なしに内容を変更することがありますのでご注意ください。商用目的で情報の内容を第三者へ提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容によって生じた如何なる損害についても、（株）DZHフィナンシャルリサーチは一切の責任を負いません。